

<平成26年3月期第2四半期決算参考資料>(連結)

	前第2四半期累計実績 平成25年3月期 (A)	当第2四半期累計実績 平成26年3月期 (B) <small>平成25年4月予想</small>	通期予想 平成26年3月期 (C)	前回(平成25年4月)予想 平成26年3月期 (D)	前期実績 平成25年3月期 (E)
売上高	8,600 億円	9,290 億円 <small>10,000</small>	21,300 億円	22,700 億円	18,151 億円
営業利益	308 億円	508 億円 <small>360</small>	1,000 億円	1,000 億円	674 億円
<利益率>	< 3.6% >	< 5.5% >	< 4.7% >	< 4.4% >	< 3.7% >
		(増益要因) 為替 307億円 資材費等コスト低減 190億円 (減益要因) 販売費用 ▲181億円 台数・車種構成等 ▲102億円 その他 ▲14億円 対前年同期 変動計(B-A) 200億円	(増益要因) 為替 400億円 資材費等コスト低減 280億円 台数・車種構成等 70億円 (減益要因) 販売費用 ▲290億円 その他 ▲134億円 対前期 変動計(C-E) 326億円	(増益要因) 台数・車種構成等 280億円 為替 280億円 資材費等コスト低減 200億円 (減益要因) 販売費用 ▲260億円 その他 ▲174億円 対前期 変動計(D-E) 326億円	
経常利益	316 億円	610 億円 <small>340</small>	1,000 億円	900 億円	939 億円
<利益率>	< 3.7% >	< 6.6% >	< 4.7% >	< 4.0% >	< 5.2% >
四半期(当期)純利益	301 億円	467 億円 <small>190</small>	700 億円	500 億円	380 億円
<利益率>	< 3.5% >	< 5.0% >	< 3.3% >	< 2.2% >	< 2.1% >
為替 (売上レート)	79 円/US\$ 101 円/ユーロ	98 円/US\$ 129 円/ユーロ	97 円/US\$程度 126 円/ユーロ程度 (下期: 95円US\$) (下期: 125円ユーロ)	95 円/US\$程度 125 円/ユーロ程度	82 円/US\$ 105 円/ユーロ
設備投資 (計上ベース)	258 億円	328 億円	800 億円	800 億円	514 億円
減価償却費	242 億円	260 億円	600 億円	600 億円	503 億円
研究開発費	281 億円	317 億円	730 億円	730 億円	599 億円
有利子負債残高	3,155 億円	2,816 億円			3,644 億円
総資産	12,574 億円	13,981 億円			14,528 億円
売上台数	535 千台	568 千台	1,306 千台	1,363 千台	1,120 千台
国内	88 千台	134 千台	320 千台	322 千台	176 千台
海外	447 千台	434 千台	986 千台	1,041 千台	944 千台
生産台数	539 千台	595 千台			1,122 千台
国内	253 千台	292 千台			484 千台
海外	286 千台	303 千台			638 千台
業績評価		増収・増益			

三菱自動車、2013年度第2四半期決算及び通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2013年度(2014年3月期)第2四半期決算及び2013年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 業績概況

2013年度第2四半期累計期間(2013年4月1日～9月30日)の売上高は、前年同期比690億円(8%)増の9,290億円となりました。

営業利益は、広告宣伝費など販売費の増加や車種構成等の悪化はあったものの、為替の好転に加え、資材費等コスト低減の寄与もあり、前年同期比200億円(65%)増の508億円となりました。

経常利益は、為替差益の計上等による営業外損益の好転に伴い、前年同期比294億円(93%)増の610億円となりました。また当期利益は、前年同期比166億円(55%)増の467億円となりました。

2. 販売台数(小売)

2013年度第2四半期累計期間の販売台数は、前年同期比21千台(4%)増の499千台となりました。

日本：登録車の販売が前年同期を下回った一方で、6月に発売した新型軽自動車『eK ワゴン』、『eK カスタム』が好調な滑り出しを見せたことにより、前年同期比3千台(5%)増の66千台となりました。

北米：米国における販売台数は、昨年生産を終了した『ギャラン』の台数減少を、主力車種である『アウトランダースポーツ』や6月に発売した新型『アウトランダー』の台数増加で補い、前年同期並みとなりました。また、カナダ及びメキシコの販売台数は前年同期を上回り、地域全体としては前年同期比2千台(3%)増の45千台となりました。

欧州：ロシアの販売台数は、総需要の減少に伴い前年同期を下回ったものの、西欧地域での販売台数は、総需要が減少する中、新型『アウトランダー』や新型『ミラージュ』の投入効果などにより前年を上回り、地域全体としては前年同期比1千台(1%)増の91千台となりました。

アジア及びその他の地域：フィリピンやインドネシアで販売が好調に推移した一方、タイ政府によるファーストカーバイヤープログラムが昨年末に終了したことの影響などにより同国での販売が減少した結果、アセアン地域の販売台数は前年を下回りました。アセアンを除く各地域(北アジア、豪州・ニュージーランド、中南米、中東・アフリカ)の販売はいずれも前年を上回り、全体としては前年同期比15千台(6%)増の297千台となりました。

3. 2013年度業績見通し

本第2四半期累計期間の実績、及び、直近の経済状況や市場動向等を踏まえ、2013年度通期(2013年4月1日～2014年3月31日)の販売台数見通し及び業績見通しについて検討を行った結果、販売台数、売上高、経常利益、及び当期利益について、以下のとおり修正を行うこととしました。

- 販売台数： 1,111千台(対本年4月25日公表計画値58千台減)
- 売上高： 21,300億円(同1,400億円減)
- 営業利益： 1,000億円(同±0)
- 経常利益： 1,000億円(同100億円増)
- 当期利益： 700億円(同200億円増)

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当:地引、村田

企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2013年度第2四半期業績の概況



『eKスペース』
(2014年初頭発売予定)



『eKスペース カスタム』
(2014年初頭発売予定)

三菱自動車工業株式会社

2013年10月29日

2013年度第2四半期決算サマリー【6ヵ月累計、前年同期対比】

前年同期比台数増、増収・増益

(単位: 億円, 千台)

	FY12 2Q ('12/4-9) 実績①	FY13 2Q ('13/4-9) 実績②	差 ② - ①	FY13 2Q ('13/4-9) 4/25公表値
売上高	8,600	9,290	+ 690	10,000
営業利益	308	508	+ 200	360
経常利益	316	610	+ 294	340
当期利益	301	467	+ 166	190
販売台数(小売)	478	499	+ 21	544
販売台数(卸売)	535	568	+ 33	597
うち OEM台数・共同開発車等	(45)	(87)	(+ 42)	(85)

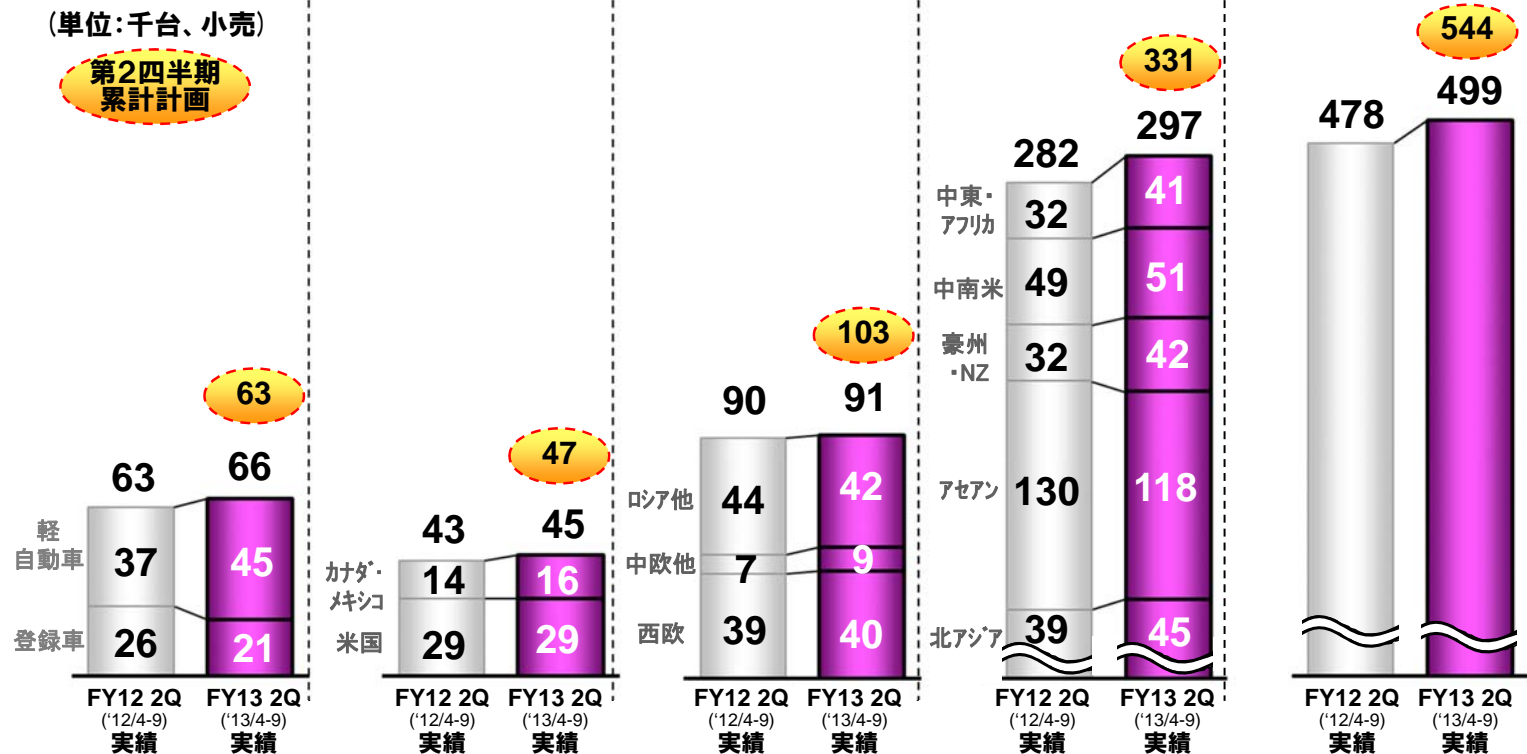
※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数実績【地域別6ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
+3 (+5%)	+2 (+3%)	+1 (+1%)	+15 (+6%)	+21 (+4%)

(単位:千台、小売)

第2四半期
累計計画



※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位: 億円)

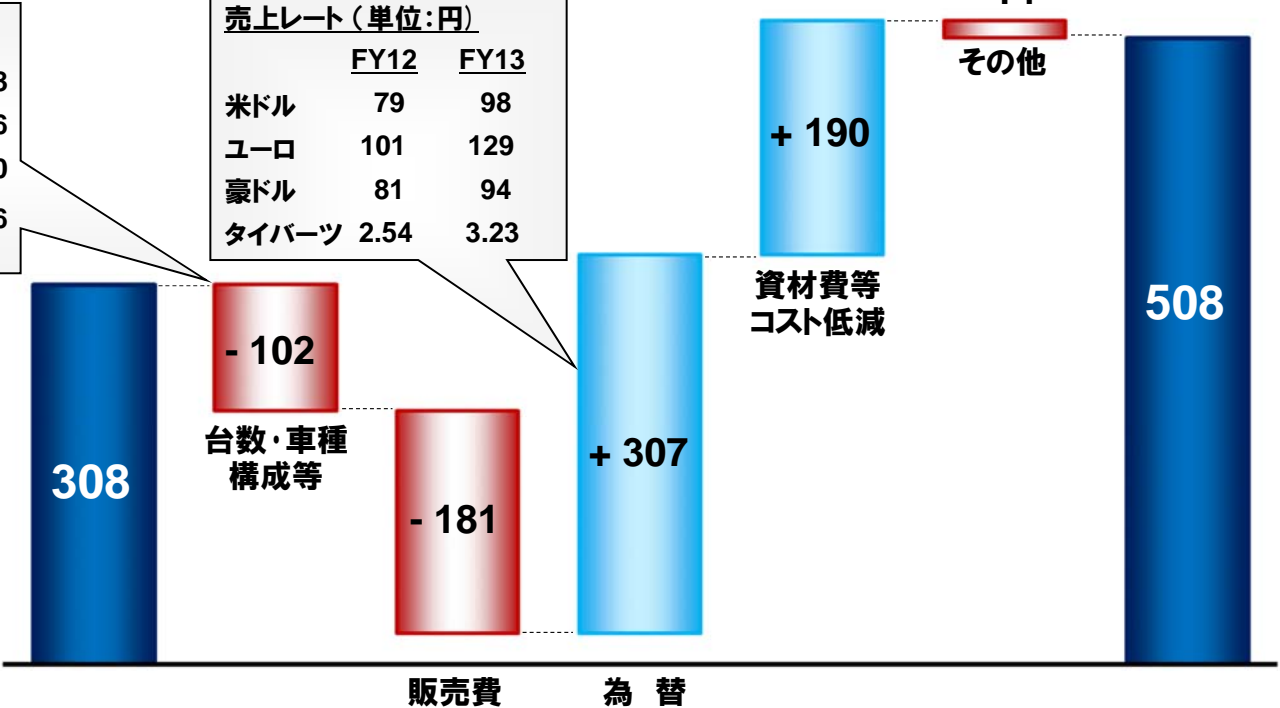


地域別

日本:	+78
北米:	+6
欧州:	-50
アジア・その他:	-136

売上レート (単位:円)

	FY12	FY13
米ドル	79	98
ユーロ	101	129
豪ドル	81	94
タイバーツ	2.54	3.23



經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位: 億円)

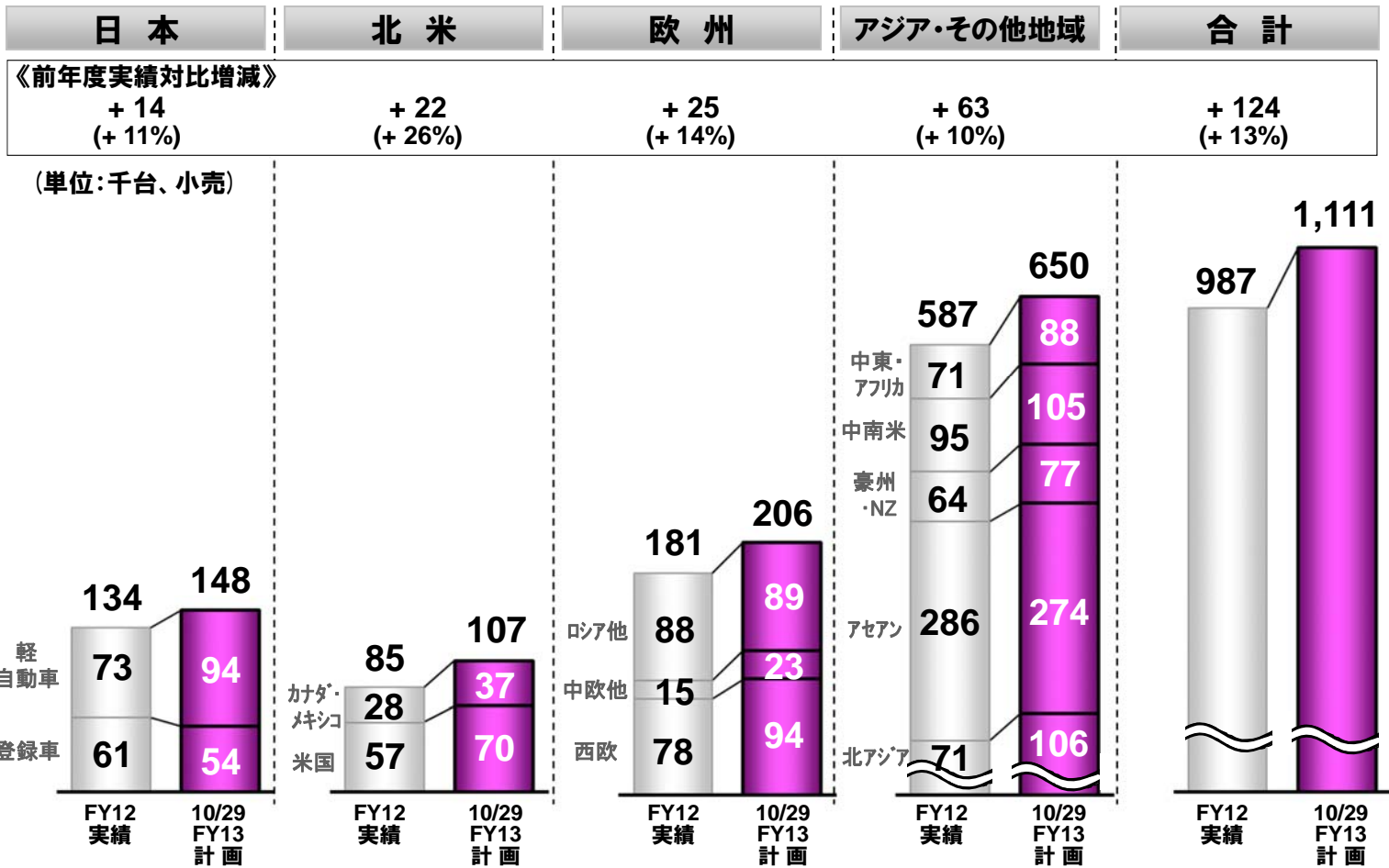
	FY12 2Q (‘12/4-9) 実績①	FY13 2Q (‘13/4-9) 実績②	差 ② - ①
営業利益	308	508	+ 200
営業外損益	+ 8	+ 102	+ 94
經常利益	316	610	+ 294
特別損益 及び法人税等	- 15	- 143	- 128
当期利益	301	467	+ 166

貸借対照表【前年度末対比】

(単位: 億円)

	FY12末 (‘13/3月末)	FY13 2Q末 (‘13/9月末)	増減
資産合計	14,528	13,981	- 547
うち 現金預金	4,095	3,297	- 798
売上債権	1,496	1,379	- 117
たな卸資産	2,023	2,408	+ 385
負債合計	11,016	10,021	- 995
うち 仕入債務	3,138	3,056	- 82
有利子負債	3,644	2,816	- 828
純資産合計	3,512	3,960	+ 448

2013年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】



2013年度通期業績見通し 業績サマリー【前年度対比】

台数増加や資材費等コスト低減の積み上げにより増収・増益を目指す

(単位: 億円,千台)

【参考】
FY13
4/25公表値

	FY12 実績	FY13 10/29公表値	【参考】 FY13 4/25公表値
売上高	18,151	21,300	22,700
営業利益	674	1,000	1,000
経常利益	939	1,000	900
当期利益	380	700	500
販売台数(小売)	987	1,111	1,169
販売台数(卸売)	1,120	1,306	1,363
うち OEM台数等	(79)	(209)	(207)

為替前提レート	米ドル	ユーロ	豪ドル	タイバツ
(円/1通貨単位)	82	105	85	2.70

	上期	下期	通期
98	95	97	
129	125	126	
94	85	90	
3.23	3.20	3.21	

増減内訳 (前年度対比: +326億円)

・台数・車種構成等	+70
・販売費用	-290
・為替	+400
・資材費等コスト低減	+280
・開発費他	-134

■ 2013年度第2四半期累計実績

前年同期比台数増、増収・増益

- 販売台数(小売)：前年同期比 4%増加の499千台
- 販売台数(卸売)：前年同期比 6%増加の568千台
- 売上高：前年同期比 8%増収の 9,290億円
- 営業利益：前年同期比 65%増益の 508億円
(台数・車種構成等、販売費が悪化した為、為替や資材費等コスト低減の好転などにより増益)
- 経常利益：前年同期比 93%増益の 610億円
- 当期利益：前年同期比 55%増益の 467億円

■ 2013年度通期見通し

台数増加や資材費等コスト低減の積み上げにより増収・増益を目指す

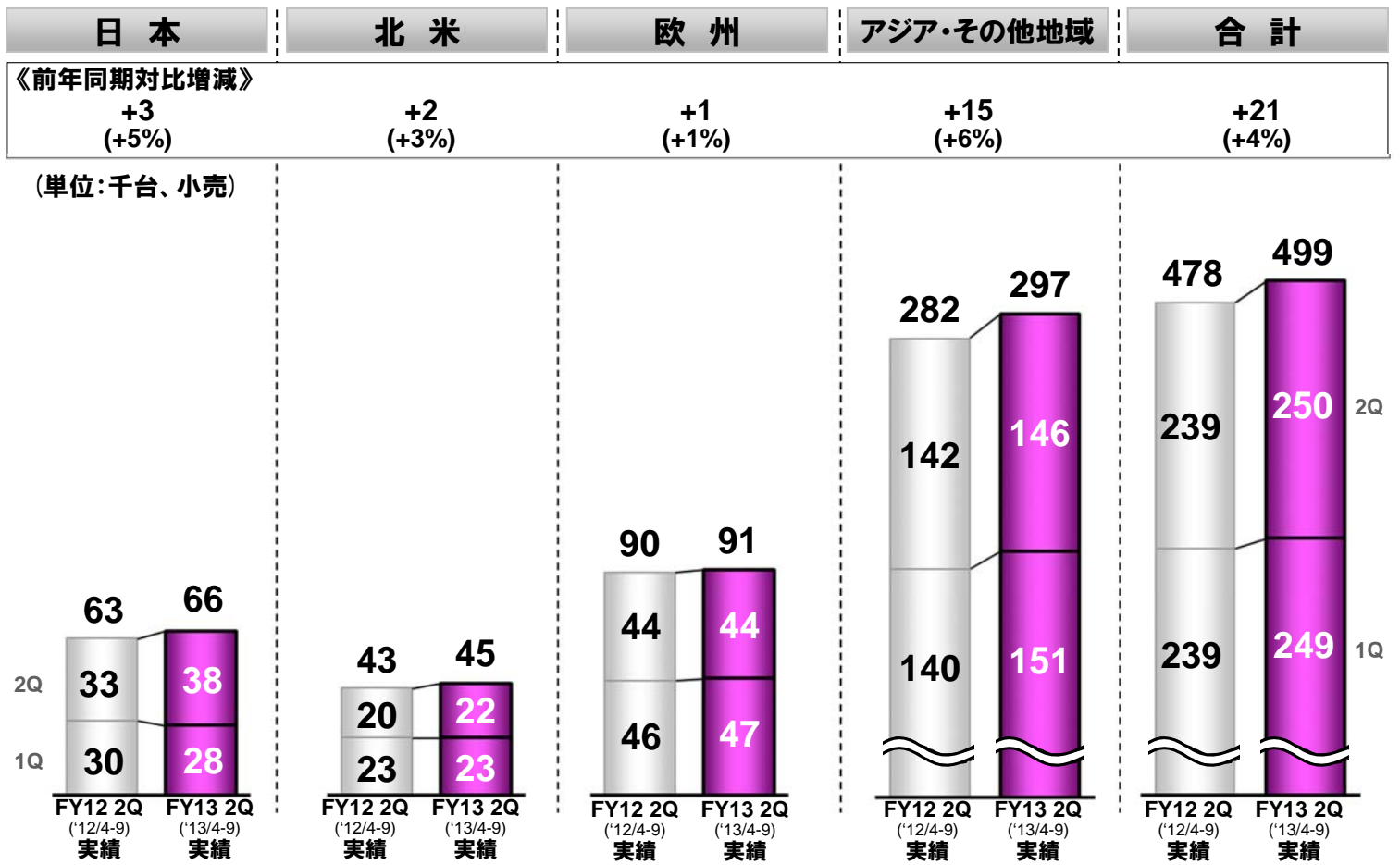
- 販売台数(小売)：前年比 13%増加の1,111千台
- 販売台数(卸売)：前年比 17%増加の1,306千台
- 売上高：前年比 17%増収の 2兆1,300億円
- 営業利益：前年比 48%増益の 1,000億円
- 経常利益：前年比 6%増益の 1,000億円
- 当期利益：前年比 84%増益の 700億円

添付資料



『アウトランダーPHEV』

地域別販売台数実績【四半期別6ヵ月累計、前年同期対比】



※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

2013年度第2四半期累計期間 地域別業績【前年同期対比】

(単位: 億円)

	FY12 2Q (‘12/4-9) 実績①	FY13 2Q (‘13/4-9) 実績②	増減 ②-①
売上高	8,600	9,290	+ 690
- 日本	1,549	2,026	+ 477
- 北米	798	1,080	+ 282
- 欧州	2,109	1,950	- 159
- アジア・ その他地域	4,144	4,234	+ 90
営業利益	308	508	+ 200
- 日本	- 84	- 13	+ 71
- 北米	- 131	- 32	+ 99
- 欧州	- 89	98	+ 187
- アジア・ その他地域	612	455	- 157

(単位: 億円、千台)

	FY13 1Q ('13/4-6)	FY13 2Q ('13/7-9)	FY13 1H ('13/4-9)
売上高	4,094	5,196	9,290
営業利益	160	348	508
経常利益	223	387	610
当期利益	164	303	467
販売台数 (小売)	249	250	499
販売台数 (卸売)	250	318	568
うち OEM台数・共同開発車等	(31)	(56)	(87)

※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

2013年度営業利益見通し増減分析 【4/25公表値対比】

(単位: 億円)



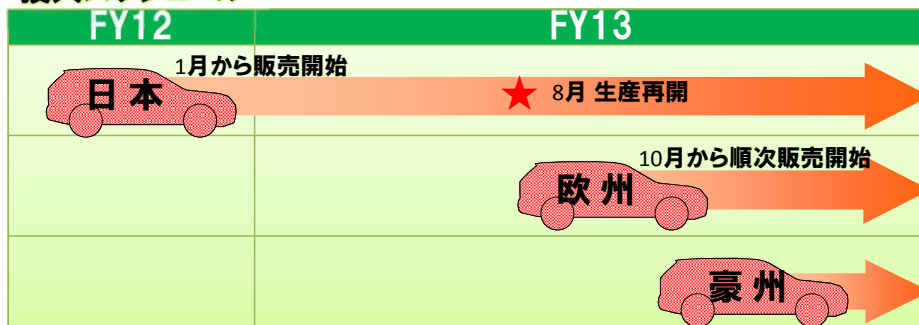
(単位：億円)

	FY12 実績	FY13 4/25公表値	FY13 10/29公表値
売上高	18,151	22,700	21,300
- 日本	3,295	4,700	4,700
- 北米	1,577	2,100	2,400
- 欧州	4,007	5,100	4,700
- アジア・ その他地域	9,272	10,800	9,500
営業利益	674	1,000	1,000
- 日本	- 276	- 150	- 40
- 北米	- 200	- 40	- 40
- 欧州	- 70	200	240
- アジア・ その他地域	1,220	990	840

アウトランダーPHEV

品質を確保し、8月中旬に生産を再開

投入スケジュール



欧州向け船積み(蒲郡港)

アジアクロスカントリーラリー2013を完走

パワートレインやドライブトレインに過度の負荷がかかるクロスカントリーラリーにおいて、プラグインハイブリッドEVシステムはトラブルフリーで信頼性を実証



アジアクロスカントリーラリー2013

自動車メーカー4社(トヨタ、日産、ホンダ、三菱)が 電動車両の充電インフラの共同推進に合意(7月)

充電器の設置促進活動の共同推進やユーザーにとって利便性の高い充電ネットワークサービスの構築を行う



電気自動車『i-MiEV』70台 ロシア大統領府に納車(9月)

G20サミット(金融・世界経済に関する首脳会合)のオフィシャルカーとして採用



フランス・リヨン再開発地域における スマートコミュニティ実証事業に参加(10月)

再開発に伴い発生する都市問題(交通渋滞、駐車スペース不足、排気ガス等)への対応や再生可能エネルギーのマネジメントシステムの導入・実証を行う



新興市場での現地生産拡大

タイで『アトラージュ』の 生産を開始(6月)



ロシアで『パジェロスポーツ』の 現地生産を開始(7月)



ブラジルで『ASX』の 現地生産を開始(7月)



中国で『パジェロスポーツ』の 現地生産を開始(9月)



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS